

令和7年度学術活動奨励賞選考への応募に関するお知らせ

表彰委員会委員長 高橋 純平

学術活動奨励賞は、士会員、特に若手会員による活発な学術研究活動を推進することを目的に、毎年、優れた学術研究活動を実践していると認められる士会員1～2名（またはグループ、団体）を表彰委員会が選考し、士会学会の場で表彰を行っています。受賞者には表彰状の他、記念の品と楯が贈呈されます。

令和6年度は、個人として 星 豪志 会員（弘前大学医学部附属病院）、川村 大地 会員（青森スポーツクリエイション株式会社 青森ワッツアカデミー事業部）が受賞されました。

受賞者の選考は、過去5年間の学会等（国内外の学会、研究会、症例検討会、院内発表会）での発表や学術論文を選考資料とし、表彰委員会が行います。なお、選考の基になる業績の中に、当士会の学術誌「理学療法研究」に筆頭著者として掲載された論文、または当士会学会での筆頭演者としての発表を含んでいることが必須となっていますので、再度お知らせいたします。

表彰委員会では、学会誌や学術誌等をもとに選考資料を独自に広く収集するよう努めておりますが、委員の数も限られており、士会員による学術研究活動に関するすべての情報を収集することができません。そこで、委員会では公正な選考を行うために、士会員個人から過去5年間の業績を申告していただき、それらを選考資料に含めることにしています。今年度は令和3～7年度分の業績が対象となります。

ついては、学術活動奨励賞の受賞にチャレンジされる士会員（養成校教員と過去の受賞者を除く）は、過去5年間の学術研究活動のリストを下記の要領で表彰委員会までお送りくださるようお願いいたします。多くの士会員が奮ってチャレンジされることを期待しております。

【応募要領】

学術活動奨励賞業績申告用紙（別紙）を用いて、学術研究活動の業績を表彰委員会まで申告して下さい。送付方法は郵送またはE-mailとします（なるべくE-mailでの提出をお願いします）。青森県士会ホームページのダウンロードに同じ様式のWordを掲載してありますのでご利用ください（県士会ホームページ会員専用ページ→各種申請書→学術奨励賞関連）。申告された業績は学術活動奨励賞の審査及び理事会への結果報告以外には使用せず、審査終了後には破棄いたします。

募集期間は令和7年3月13日（必着）までとさせていただきます。不明な点は下記アドレスへE-mailでお問い合わせ下さい。（TELは至急時のみでお願いします）

応募先（問い合わせ先）

〒036-8564 青森県弘前市本町 66-1

弘前大学大学院 保健学研究科 高橋 純平 宛

E-mail: junpei@hirosaki-u.ac.jp

TEL : 0172-39-5977（直通）

学術活動奨励賞選考資料用業績リスト申告用紙

会員番号 _____ 氏名 _____
所属施設 _____

【業績 1】

演題・論文の標題： _____

学会・雑誌等の名称（発表の場合は開催回と年月（西暦）、雑誌の場合は巻・号・頁，出版年を記載）： _____

筆頭・共同発表または執筆の別： 筆頭 共同（どちらかを○で囲む）

【業績 2】

演題・論文の標題： _____

学会・雑誌等の名称（発表の場合は開催回と年月（西暦）、雑誌の場合は巻・号・頁，出版年を記載）： _____

筆頭・共同発表または執筆の別： 筆頭 共同（どちらかを○で囲む）

【業績 3】

演題・論文の標題： _____

学会・雑誌等の名称（発表の場合は開催回と年月（西暦）、雑誌の場合は巻・号・頁，出版年を記載）： _____

【業績 4】

演題・論文の標題： _____

学会・雑誌等の名称（発表の場合は開催回と年月（西暦）、雑誌の場合は巻・号・頁，出版年を記載）： _____

筆頭・共同発表または執筆の別： 筆頭 共同（どちらかを○で囲む）

【業績 5】

演題・論文の標題： _____

学会・雑誌等の名称（発表の場合は開催回と年月（西暦）、雑誌の場合は巻・号・頁，出版年を記載）： _____

筆頭・共同発表または執筆の別： 筆頭 共同（どちらかを○で囲む）

記入欄が不足する場合はコピーして追加してください。あるいは、MS-Word 等で同じ様式を作成し、使用しても構いません。